

報道機関各位

熊本大学

## サイエンスカフェ 「コミュニケーションをデザインする」を開催

このたび、熊本大学の人文社会科学系国際共同研究拠点事業の一環として、URA(※)推進室主催により、サイエンスカフェを下記のとおり実施する運びとなりました。

サイエンスカフェとは、研究者などの専門家と一般の方が、コーヒーなどを手に気軽に研究などの話題について自由に語り合う新しいコミュニケーションの場です。

今回は、ポジティブ・ディビアンズという考え方を、企業などあらゆるコミュニティに取り入れて、コミュニケーションをデザインすることを提案いたします。

ポジティブ・ディビアンズとは、「良い逸脱」を意味します。問題の生じている中でうまくいっている例外を見つけ、何が功を奏しているのかを探すことです。この考え方を取り入れることで、退屈な会議、気まずい相談、難しかった人間関係の構築に良い変化がもたらされるかもしれません。実際に体験しながら、コミュニケーションをデザインする手法と一緒に学ぶ貴重な機会になると存じます。

広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。

### 記

【日 時】平成28年10月1日(土) 14:00~15:30

【場 所】熊本市現代美術館内 アートロフト(熊本市中央区上通町2-3)

【対 象】一般の方(興味がある方はどなたでも)

【参加費】無料

【申込方法】下記申込先に、E-mailにてお申し込みください。

タイトルを「サイエンスカフェ申込み」として、本文にお名前、ご連絡先、ご職業を明記してください。

【申 込 先】熊本大学 URA 推進室 E-mail: kenkyu-seminar@jimu.kumamoto-u.ac.jp

【申込締切】平成28年9月28日(水) 必着

◆詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

URL: <http://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu/news/20161001>

※URA: 研究コーディネーター (University Research Administrator)

研究者とともに研究活動を組織として円滑に実施するための業務を行う専門的な職員

### 【お問い合わせ先】

熊本大学 URA 推進室: 黒木・福田

TEL: 096-342-3303・3307

research-coordinator@jimu.kumamoto-u.ac.jp



熊本大学発→サイエンスcafé

# コミュニケーションを デザインする

コミュニケーションに  
悩む社会人に最適！

10月1日 (土)

14:00 - 15:30

熊本市現代美術館 アートロフト

入場  
無料

MindがFullな状態から解き放って、Mindfulに！

「良い逸脱」を意味するポジティブ・ディビアンズとは、問題の生じている中で例外を見つけ、何が功を奏してその例外がうまくいっているのかを探ることです。同じ条件なのになぜかその人だけが、うまくいっている。そのカギはとて小さな、見過ごされがちなことかもしれません。

企業や地域、家族にいたるまで、ありとあらゆるコミュニティの中で人間関係はその集団のパフォーマンスに大きく影響を与えます。人間関係のベースとなるのはコミュニケーションです。ポジティブ・ディビアンズの考え方をコミュニケーションに取り入れてコミュニケーションをデザインすることで、退屈な会議が、気まずい相談が、難しかった人間関係の構築が劇的に良くなるかもしれません…！



かわむら ようこ  
GUEST: 河村 洋子

熊本大学 政策創造研究教育センター准教授

## 申込先

熊本大学 URA推進室

[kenkyu-seminar@jimu.kumamoto-u.ac.jp](mailto:kenkyu-seminar@jimu.kumamoto-u.ac.jp)

タイトルを「サイエンスカフェ申し込み」とし、本文にお名前、ご連絡先、ご職業を明記の上、上記アドレス宛にメールでお申し込み下さい。

※定員になり次第受け付け終了させていただきます。

QRコードからも  
お申し込みいただけます



## ポジティブ・ディビアンズ?

ポジティブ・ディビアンズは、「ポジティブな逸脱」を意味します。私たちが見過ごしてしまっているとても小さな行動が、私たちがなんとかしたい問題に関連するある結果を劇的に良くする解決策である可能性があります。私たちは溢れんばかりの情報とスピード感にこれでもかというぐらいに高い価値を置く社会で生活を送りながら、「時間がない」「忙しい」と口にし、Mind がFullな状態にあると言えるでしょう。つまり、普通に生活を送っていたら、自分にとっての「当たり前」に従うことしかができない、余裕のない状態です。

今回は、ポジティブ・ディビアンズの考え方を、企業などのコミュニティのコミュニケーションに当てはめて、コミュニケーションをデザインすることを提案したいと思います。この考え方を取り入れることで、睡魔との壮絶な格闘を強いられる会議とおさらばできるだけでなく、コミュニティのパフォーマンスにつながるような豊かな人間関係が構築できるかも(!?) かもしれません。今回の提案のポイントは、簡単だけど、私たちを“Mind がFull”から解放し、“Mindful”にしてくれる、ということです。

## 注意事項

- ・気軽においで下さい。
- ・飲み物の持ち込みは、水筒、ペットボトルに入った水、お茶のみ可です。

## 熊本市現代美術館 アートロフト

### びふれす熊日会館内

通町筋電停または通町筋バス停から徒歩1分

#### ◆バス

熊本電気鉄道バス・九州産業交通バス・熊本市営バス・熊本バスの各バスより通町(とおりちょう)下車

#### ◆市電

熊本市営電車では通町筋(とおりちょうすじ)下車

本件に関する熊本市現代美術館へのお問い合わせはご遠慮下さい



## サイエンスカフェって何?

### カフェのような気軽な雰囲気の中で科学を語り合おう

身近にある科学について、ゲストが分かりやすく解説します。

疑問に思うことは何でも聞いて下さい。

お問い合わせ 熊本大学 URA推進室 担当: 黒木(くろぎ)・福田 096-342-3303・3307

[research-coordinator@jimu.kumamoto-u.ac.jp](mailto:research-coordinator@jimu.kumamoto-u.ac.jp)